

「サステナビリティ・リンク・ローン」の成約について

株式会社兼子(代表取締役社長 兼子 卓三、以下 兼子)が所属する KG ホールディングス株式会社(代表取締役 兼子 卓三、以下 KGHD)は、株式会社三菱 UFJ 銀行(取締役頭取執行役員 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち})との間で締結していたローン契約について、今般、ローン・マーケット・アソシエーション^[1]等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した「サステナビリティ・リンク・ローン」形式の変更契約(以下 本契約)を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下 SPT)を設定し、金利などの貸付条件と SPT に対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

兼子は、主に企業から排出される古紙の回収から再資源化、またプラスチック及び金属などの廃棄物の収集・運搬・中間処理までを、自社にてワンストップでサービス提供を行う総合リサイクル事業者です。本契約では、兼子における古紙回収量の純増を SPT として設定し、SPT 達成状況に応じて優遇金利が適用されるインセンティブが付与されています。SPT として設定した古紙回収量の増大は、KGHD が特定した 6 つの重要課題のうち「リサイクル・再資源化・廃棄物削減の強化によるグループ一体での事業活動の促進」、及び「お客さまのサーキュラーエコノミーの実現」と直結する目標として、グループにおいて重要な位置付けとなっています。事業成長と社会における環境負荷低減を両立する目標である本 SPT の達成を通じ、グループ全体の事業拡大および環境を含めたサステナビリティへの取り組みへの貢献を目指してまいります。

なお、本契約では、株式会社日本格付研究所(以下 JCR)より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定した SPT の合理性について第三者意見を取得しています。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 65 ヶ国以上約 800 機関が加盟。